



# ふきのとう

## 第44号

【発行】

社会福祉法人  
秋田県社会福祉事業団

〒010-1412  
秋田市御所野下堤五丁目1番地の1  
TEL 018-889-8360 FAX 018-889-8361  
HP <http://www.fukinoto.or.jp>  
e-mail [mail@fukinoto.or.jp](mailto:mail@fukinoto.or.jp)



やまばと園が手掛ける農園  
ネギ、花、サツマイモを植えています。

### 【目次】

- P 6 ・ 表彰
- P 5 ・ 本人活動支援事業について
- P 4 ・ 令和5年度事業報告
- P 3 ・ 令和5年度決算報告
- P 2 ・ 25周年記念祭を開催しました

★INSTAGRAM随時更新中★  
ホームページからも  
閲覧できます。  
詳細は、コチラから↓



秋田県北部老人総合エリア25周年記念祭

## 25周年記念祭を開催しました

### 秋田県北部老人福祉総合エリア

当エリアは1999年8月1日の開館以来、永きにわたり地域にご愛顧いただき、この度、開館25周年を迎えることができました。開館を記念し8月12日に「25周年記念祭」を開催しました。今回はお盆の帰省時期と重なったことで親子連れのお客様にも楽しんでいただけるよう、様々な催しを用意いたしました。狙い通り多くの親子連れが来館し、大変な賑わいを見せました。

当日は台風5号接近の影響が懸念されましたが、それを払拭するようにオープンと同時にたくさんの来館者が訪れ、大館市のヒーローである「コウライザー」のショーや段ボールを使った巨大迷路、消防車の展示・撮影会の他、当エリアオリジナルのノベルティグッズを賞品としたガラポン抽選会などいずれの催しも長い列をなすほどの盛況ぶりでした。また、地元の特産品である「曲げわっぱ」の良さを多くの方に知ってもらうため、初めて「曲げわっぱ」作りの体験教室を開催しました。20名の募集枠は、予約開始後すぐに満員となり、キャンセル待ちが出るほどの盛況でした。参加者の中には県外から帰省された方もいらっしゃいました。参加者は、自作の弁当箱を手にも満足そうな表情を浮かべていました。

イベントの締めくくりにはこれも初めての企画である「スイカ割り大会」が行われ、参加者全員で割ったスイカを美味しくいただき、大いに盛り上がりました。

これからも、地域の皆様に愛されるエリアを目指し、また、より一層地域に貢献できるよう、様々なイベントを企画してまいります。



## 令和5年度決算報告

## 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

資産の部			負債の部				
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	2,043,436,277	1,871,075,023	172,361,254	流動負債	448,672,701	371,908,668	76,764,033
				固定負債	640,852,672	636,362,180	4,490,492
固定資産	6,299,158,815	6,314,825,161	△ 15,666,346	負債の部合計	1,089,525,373	1,008,270,848	81,254,525
				純資産の部			
基本財産	2,238,850,114	2,355,379,683	△ 116,529,569	基本金	10,000,000	10,000,000	0
				国庫補助金等特別積立金	1,260,835,497	1,329,421,266	△ 68,585,769
				その他の積立金	3,244,446,384	3,138,961,367	105,485,017
その他の固定資産	4,060,308,701	3,959,445,478	100,863,223	次期繰越活動収支差額	2,737,787,838	2,699,246,703	38,541,135
				(内当期活動収支差額)	(144,026,152)	(192,256,913)	△ 48,230,761
				純資産の部合計	7,253,069,719	7,177,629,336	75,440,383
資産の部合計	8,342,595,092	8,185,900,184	156,694,908	負債及び純資産の部合計	8,342,595,092	8,185,900,184	156,694,908

## 資金収支計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日  
(単位：円)

勘定科目	決算
事業活動による収支	
事業活動収入計	4,841,280,164
事業活動支出計	4,589,461,339
事業活動資金収支差額	251,818,825
施設整備等による収支	
施設整備等収入計	1,992,208
施設整備等支出計	42,017,355
施設整備等資金収支差額	△ 40,025,147
その他の活動による収支	
その他の活動収入計	79,934,923
その他の活動支出計	196,712,233
その他の活動資金収支差額	△ 116,777,310
予備費支出	0
当期資金収支差額合計	95,016,368
前期末支払資金残高	1,627,873,025
当期末支払資金残高	1,722,889,393

## 事業活動計算書

(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日  
(単位：円)

勘定科目	決算
サービス活動増減の部	
サービス活動収益計	4,823,805,514
サービス活動費用計	4,695,385,344
サービス活動増減差額	128,420,170
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益計	17,531,658
サービス活動外費用計	67,040
サービス活動外増減差額	17,464,618
経常増減差額	145,884,788
特別増減の部	
特別収益計	1,941,308
特別費用計	2,064,244
特別増減差額	△ 122,936
税引前当期活動増減差額	145,761,852
法人税、住民税及び事業税	1,735,700
法人税等調整額	0
当期活動増減差額	144,026,152
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額	2,699,246,703
当期末繰越活動増減差額	2,843,272,855
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	40,598,980
その他の積立金積立額	146,083,997
次期繰越活動増減差額	2,737,787,838

事業報告・決算の詳細については、当事業団ホームページの「事業報告・決算」ボタンからアクセスしていただくことができます。

## 令和五年度 事業報告概況

### (一) 県有大規模施設の今後の在り方

秋田県心身障害者コロナーについて、秋田県が主体となり、有識者によるあり方検討会が開催され、今後について一定の方向性が示されました。

秋田県南部老人福祉総合エリア老人専用マンションについて、秋田県や地元自治体等と協議を行い、令和六年度末で廃止されることになりました。

### (二) 質の高い福祉サービスの提供

外部からの新たな視点による気づきを得ることを目的とし、障害者支援センター御所野において、福祉サービス第三者評価を受審しました。PDCAの手法を活用した継続的な福祉サービスの実践、虐待防止を意識した支援、施設の持てる機能の地域への還元等が特に高く評価され、全体的に良い評価を得ることができました。また、第三者評価を受審することによって、「自立支援」及び「地域移行」の視点についての気づきが得られました。

### (三) ICTシステムの活用

令和五年度より事務局に新たに設置した人財企画係を中心に、記録の音声入力など業務改善に資する情報提供を各施設に行いました。また、新たに導入したグループウェアを活用し、電子回覧、電子決裁の試行を実施し、本格運用に向けて検討を進めました。

### (四) 権利擁護の徹底

令和五年度より事務局職員が、各施設の支援場面の様子を確認する支援現場の確認を実施しました。訪問後に事務局職員が気付いた点をまとめ、その内容を各施設の職員と確認しあう機会を設けることで、日頃行っている支援の振り返りを行う機会となりました。

### (五) 処遇の改善と職場環境の向上

新たな処遇改善交付金・補助金・加算等を活用し、職員の確保に苦慮している夜勤を担う支援員に重点を置いた待遇改善を実施しました。また、これまで当該加算等の対象ではなかった事務員、技師、医療職等へもベースアップを実施しました。

### (六) 職員採用の取組強化

令和六年四月一日付で福祉職十二名、技師一名を採用しました。また、人財企画係による、広報活動、インターシップの受け入れ、関係機関との調整、就活サイト等の検討を行い、リクルートサイトの作成やマイナビサイトの契約による取組強化に努めました。

### (七) 危機管理体制の強化

全施設において、事業継続計画を策定しました。また、高清水園において、日本赤十字秋田看護大学と「臨時的避難場所の提供等に関する協定」の締結を進め、障害者支援センター御所野において、社会福祉法人けやき会と災害時応援協定を締結しました。

### (八) 施設の長寿命化と計画的な改築等

専門性を有する事業者からのアドバイスをもとに、長寿化に繋がる効率的な改修整備計画の検討を進めました。また、秋田県心身障害者コロナーのグループホーム整備を目的とした用地確保や設計業務委託のため事業展開積立金の取り崩しを行いました。また、将来の施設整備に向け新たに約一億四千万円程度の積立を行うことができました。



# 由利本荘地域生活支援センター

由利本荘地域生活支援センターは、相談と通所の機能に特化して地域のニーズに密着したサービスの提供をしています。相談支援事業、基幹相談支援センター事業、生活介護事業、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業などを実施していますが、今回は、障害者就業・生活支援センターの事業をご紹介します。

当センターの障害者就業・生活支援センター「イーサポート (E-Support)」では、由利本荘・にかほ圏域を対象に、障がいや難病等のある方（手帳の有無は問いません）が、安心して職業生活を送ることができるよう、ハローワークや障害者職業センターなどの関係機関と協力して、就業及び生活上のサポートを総合的に行っていきます。

利用者の皆様を対象とした事業としては、個別の相談支援の他に、就労や生活上の悩み事や自分で積極的に取り組んでいることなどを互いに話し

合いながら参考としてもらう機会とする「在職者交流会」や「ピアサポート活動」、余暇支援としてスポーツや買い物、小旅行などを行う「ふれあいサロン」などを実施しており、掲載されている写真はその際の様子を写したものです。

この他各企業様には、雇用にあたっての相談、障害者雇用についての情報提供、在職中の方の職場定着に向けた相談などを行ってありますが、特に、利用者の皆様が持っているそれぞれの強みや、能力を十分に発揮してもらうために配慮していただきたいことなどについて、わかりやすく丁寧な説明を心掛けて、ご理解とご協力をいただきながら、障害者雇用の更なる促進につなげていきたいと考えています。

誰でも地域社会の一員として活躍し、安心して暮らしていけるよう、スタッフ一同取り組んでまいります。



森子大物忌神社で歴史を勉強



ふれあいサロンとしてドライブツアーを開催！おばこ号に乗って森子大物忌神社へ♪



男鹿までドライブ、なまはげと一緒になまはげポーズで写真撮影！



ピアサポートを開催！参加者の皆さんにストレス発散方法や趣味等を共有してもらいました！



# やまばと園本人活動支援事業について

この事業は、令和4年度より秋田県手をつなぐ育成会の本人活動の一環として、新型コロナウイルス感染症などの感染拡大の状況においても、密を避けながら活動できる環境を提供することを目的に開始されました。

地域の農業法人「山民」様から畑を借り、農作物の定植や作業、収穫を体験する機会をいただいております。収穫の喜びを感じるだけでなく、農作物の苗植え作業を通じて地域の方々との交流も深めています。さらに、収穫したサツマイモは焼き芋に、リンゴはコンポートアイス添えに、ネギは給食の食材として活用し、利用者の皆さんから大変喜ばれました。こうした農業体験は利用者の皆さんからも非常に好評であり、今年度も引き続き同事業を実施しております。



**○秋田県知事表彰**  
**(社会福祉功労者)**

清水水園	総括主査	小松由緒
秋田県心身障害者コロニー	総括主査	菊地奈緒
由利本荘地域生活支援センター	主査	三浦智幸
阿桜園	支援係長	阿部清
やまばと園	管理係長	鈴木正人

受賞おめでとうございました。

**○秋田県社会福祉協議会会長表彰**  
**(社会福祉功労)**

清水水園	主査	阿部弘樹
(永年勤続功労)	主査	熊澤弘樹
秋田県心身障害者コロニー	主任技師	佐藤美江子

☆ 表 彰 ☆


